

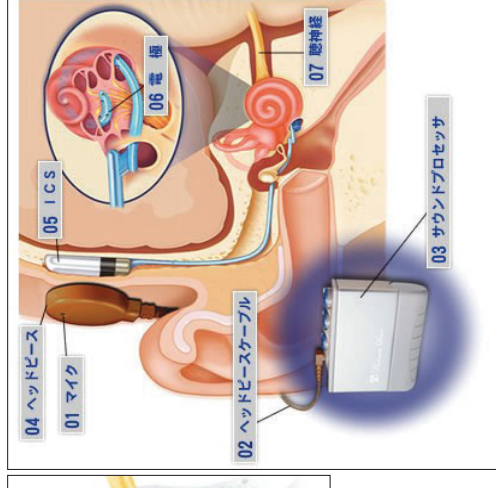
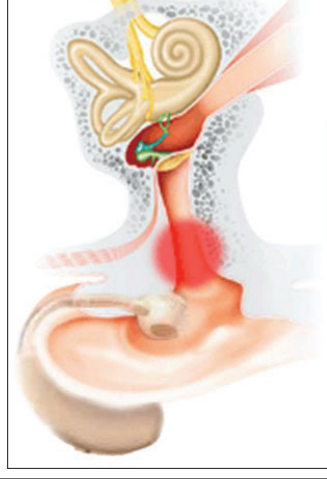
1

(1) 補聴器

音を大きくする

(2) 人工内耳

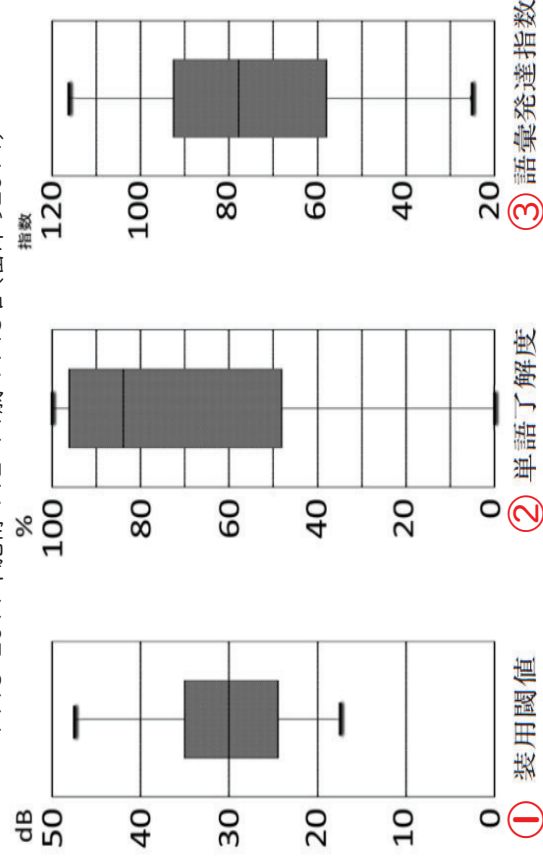
電気で刺激する



聴覚障害を理解し、 豊かな力を育てていくための 幼児期の関わり

福岡国際医療福祉大学
言語聴覚専攻科
平島ユイ子

2 中学校以上に進学した人工内耳装着時における聴取・発話・発話・語彙力の検討 1993-2011年施術の12-19歳の143名(富澤ら2014)



注: 図は上から分布の90%、75%、50% (中央値)、25%、10%の値を表す)

図1 人工内耳装用閾値、単語理解度、語彙発達指数の結果

3

(1) ことばの育ちはコミュニケーションから

- ① 理解から表出へ
- ② 語彙の増加で文へ
- ③ お話から作文へ

(2) コミュニケーションのはじまり

- ① 声に気づき、相手の顔を注視する
- ② 難聴児の場合